



立川市議会議員 あべみさ REPORTNo.13 2026年4月1日 立川・生活者ネットワーク 〒190-0004 立川市柏町4-6-21  
発行責任者 阿部 美砂 (所属会派:立憲ネット緑たちかわ) TEL:042-535-9110 FAX:042-535-9116

## 【一般質問より】 「自分ごと」として市民参画できるしくみ

### 仮称)まちづくり条例(自治基本条例)を求める

立川・生活者ネットワークは、市民の、市民による、市民のための市政にするため、立川市の憲法とも言うべき条例、「立川市まちづくり(自治基本)条例」の制定を掲げてきました。市民自治の理念や基本的な原則・ルールなどを定める条例です。

最近、自治体の主体性や自律性を弱め、国民・市民の権利を制限しようとする動きが強まっています。今こそ市民が主役の条例が必要だと考え、今回、その制定を求めて質問しました。

●パブリックコメント募集の周知や、説明会等でのオンライン併用など

●審議会等に関しては

- ・開催の時間帯や曜日の工夫
- ・委員のオンライン出席拡大
- ・オンライン傍聴(WEB中継)導入
- ・市民公募委員枠の拡大
- ・配布資料等の原則WEB公開などを求めました。

条例の制定には否定的な答弁でしたが、運用改善などに関しては前向きな答弁がありました。市長からも「多様な意見を持つ市民が積極的に参加できる機会の拡大を重視する」との答弁がありましたので、今後の具現化に注目していきます。

## 【一般質問より】 次のパンデミックに備えるため

### 今考えるコロナ禍の影響は！



新型コロナウイルス感染症の対策は適切だったのか、次のパンデミックに備えるためにも検証は不可欠です。ワクチン接種やマスク着用に関する市の見解などを質問しました。

#### ■ワクチン接種について

新型コロナワクチンの接種では、副反応の被害者が多数出ています。またワクチンを繰り返し打った患者では免疫にブレーキを掛ける抗体が大幅に増えたという報告もあります。

【厚生労働省資料より】

医療機関から副反応疑いで国に報告された件数

**37,555件** (2024年8月4日時点)

うち重篤は 9,325件

死者数は昨年3月末で 2,295人

健康被害救済制度に基づく死亡認定 1,035人

(2025年9/11日時点)

#### ■マスクの効果にも疑問

- ・酸欠を招き、免疫力低下につながる
- ・多くの不織布マスクは神経毒性や生殖毒性のある抗菌剤などを使用—などと指摘されています。

日本はマスク着用率、ワクチン摂取率も、世界的に見てとても高い水準でしたが、感染者数はたびたび世界一でした。安全性などに関し、\*予防原則で対処することを求めました。また、ワクチンを接種しない自由も保障され、接種しない人が差別や偏見を受けない社会になるよう尽力することも要請しました。

#### ■市側の答弁

- ・予防接種はデメリットも周知を図る
- ・副反応に関しては相談者らに寄り添った対応をする

\*予防原則とは、環境や人への重大な影響が懸念される場合、科学的な因果関係が完全に証明されていなくても、予防的な措置を講じるべきだという考え方